

2月1日(7時～20時)は 川口市長選挙・川口市議会議員補欠選挙 の投票日です

期日前投票所

期間 令和8年1月26日(月曜日)から
令和8年1月31日(土曜日)まで

【川口市役所第一本庁舎】

受付時間 8時30分～20時まで

【川口駅前行政センター・東川口駅前行政センター・鳩ヶ谷庁舎】

受付時間 10時～20時まで ※川口駅前行政センターにお車でお越しのかたは、川口駅東口地下公共駐車場(15分100円)等をご利用ください(川口駅東口地下公共駐車場のみ30分無料券を配布いたしますので、駐車券を係員にご提示ください)。

【芝支所・神根支所・新郷支所・安行公民館・戸塚公民館】

受付時間 10時～17時まで

税率と賦課限度額の改定

	現行	改正案	差
医療給付費分	所得割	7.45%	7.45%
	均等割	28000 円	44000 円
後期高齢者支援 均等分	所得割	2.50%	2.78%
	均等割	9000 円	16000 円
介護納付金分	所得割	1.30%	2.36%
	均等割	13000 円	17000 円
子ども子育て支 援金分(新)	所得割	—	0.27%
	均等割	—	1500 円
合計	所得割	11.25%	12.86%
	均等割	50000 円	78500 円

訂正とお詫び

新川口no.1820で掲載しました、2026年度からの国民健康保険税の改定案の表に、一部誤りがありましたので訂正して掲載します。



オートレース場

～セカイを開くのは我らだ～

1月12日は「成人の日」です。川口市では平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの二十歳の方が5986人となります。今年は、川口オートレース場において「はたちの集い」が開かれ、二十歳を迎えた成人のみなさんが晴れ着姿でつどいました。日本共産党市議団は、山崎すなお県議と共に式典に参加しました。

式典では市長や来賓の方々から祝福の挨拶がされ、最後に実行委員会のメンバーからはたちの誓いとして「十人十色」とは十人いれば十通りの個性があること、好みや考えは人それぞれ違うことを意味し、サブタイトルの「セカイ」をあえてカタカナにすることで、固定観念にとらわれず世の中を切り開いていく力強い決意が表明されました。

日本共産党川口市議団は埼玉南部地区委員会とともに西川口駅において、「自由な時間ありますか」「自由な時間をどう使いますか」などのシールアンケートに取り組み、金子ゆきひろ市議団長は、川口市政について川口東西駅広場の再開発への税金投入より市民のくらし営業を守る川口市にしていくことが求められていることを詳細に語り、2月1日川口市長選挙について周知し、主権者として市民参加の大切さを伝えながら、共に力をあわせましょうと新成人のみなさんにエールを送りました。



西川口駅宣伝

新川口

2026年1月18日 No.1821
日本共産党川口市議会議員団
川口市前川2-28-10
TEL.267-8411 FAX.261-3528
<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

知つ得 情報

川口市物価高対策
「第1弾」をお知らせします

国の「重点支援地方交付金」を活用した市独自の物価高騰対策が準備されています。

生活者支援

①低所得世帯等への支援 11.3億円

(12月議会で補正予算)

◎低所得者世帯への支援 6.6億円

住民税非課税世帯約5.7万世帯に対し、1世帯あたり1万円を支給
対象者には通知が送付されます

◎高齢者世帯等への支援 4.7億円

75歳以上の高齢者世帯及び75歳以上の高齢者がいる世帯約7万
世帯に対し1世帯あたり5000円を支給します
対象者には通知が送付されます

②子育て世帯への支援 2.8億円

(3月議会の令和8年度当初予算)

◎令和8年度の中学校の学校給食の主食費相当分の支援を検討 約1.4万人(一人あたり年間約180食分)

(小学校の学校給食費については、現在、国の施策によって無償化が
検討されています)

事業者支援

◎病院への支援 3.3億円

(12月市議会補正予算)

市内の17救急病院に対し、救急搬送の受け入れ件数等を勘案して支援
します



ごちゃまぜ川口

「ごちゃまぜ川口」は埼玉県で反ヘイトの市民運動を展開するメンバーを中心にミュージシャンやクリエイター、他県での大規模なパレードを企画した経験者等が集まって企画運営した誰でも参加できるパレードです。差別に反対する人たちの声を集め、可視化する場をつくることや、街の魅力を伝えること。また、川口市長選挙戦でのヘイトスピーチの抑止となることを実現したいこととし、事前にボランティアを募集してビラまき大作戦を敢行するなど準備されて1月11日15時に寿町公園集合で開幕しました。

開会式では差別問題をテーマに、各地を取材して回っている安田浩一氏がスピーチを行いました。開会式に来ている議員を司会者が目視で紹介し、伊藤岳前参議院議員や梅村さえこ元衆議院議員、ふじしまともこ市議会議員も紹介されました。開会式が終わると集団は出発地点の川口駅東口に移動し、出発地点に近づくと公園に居た何倍もの人数に膨れ上がりつており、列を折って待機し、徐々に出発していました。先導車を含め、各所にスピーカーやトラメガを持つ参加者が居り、大音響で音楽が流れ、太鼓や鍋を叩く人もいました。色とりどりの旗やプラカードをもった集団が「差別をやめればケバブがうまい」「ごちゃごちゃごちゃごちゃまぜ川口」「ヘイトスピーチだつせーぞ」「差別はやめろ」「一緒に生きよう」などのシュプレヒコールを唱えながら進んで行きました。道端、お店の前に立って手を振ってくれる人や窓から笑顔を向けてくれる人やじっと眺めている人、スマホで撮影をしている人などたくさんの人人がパレードに反応していました。

西川口駅周辺に来ると日も暮れかけており、多国籍料理の店の電飾がきらめく中、大勢の地元の人が手を振ってパレードを迎えました。そしてゴールに至るとスタッフが「流れ解散です」「みんな美味しいものを食べていってね」と声掛けをしており、多くの参加者が美味しいものを食べに行き、SNSに川口の多国籍グルメの写真をアップしました。公式のXアカウントによると1200人もの参加者が居たそうです。